

内閣参甲第一二九号

昭和二十四年十一月四日

内閣総理大臣 吉田 茂

参議院議長 松平恒雄殿

参議院議員小林勝馬君提出旧軍部における無線施設に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

參議院議員小林勝馬君提出「旧軍部に於ける無線施設」に関する質問に対する答弁書

(一)

- (1) 旧軍用無線施設は終戦に伴つて大蔵省所管の普通財産となつて管理されているが施設の特種性に鑑み極力無線施設として今後も継続して活用することが望まれその転活用については電気通信省その他に所管換貸付又は売却する方針のもとに処理してきている目下大蔵省において判明しているものは電気通信省が現在使用しつつあるものでその内容は別紙一号調書の通りである。全国に亘る施設については各地方の財務部が現実の管理に當つている關係から大蔵省において把握していないので若し調査の要ありとすれば各財務部に照会する必要がある相当の日時を要するものと考えられる。

(2) 電気通信省において判明している通信施設の配置状況は別紙二号調書の通りである。

(3) 土地建物の管理も各地方の財務部が行つており全国の状況は直ちに判明しないが現在電気通信省が使用中のものについては別紙一号調書の通りである。

(4) 終戦後連合軍側より当時の内務省が受領し更に内務省から電気通信省に引継いだ無線機器は無線施設に含まれる機器を除いたもので其の種類及び数量は別紙三号調書の通りである。

(二)

(1) 無線機器の処分状況は別紙三号調書の通りであり其の利用状況については一般無線通信用或は無線機器の製作又は修理用の部分品として使用せられ通信復興に大いに寄與している。

(2) 全国に亘る土地建物の管理及び処分については各地方財務部に照会を要するが電気通信省が利

用中のものは別紙一号調書の通りである。

別紙一号調書

旧軍用無線施設の種類規模裝備及び之が利用状況

(但し電気通信省所管のもの)

旧軍用施設の種類	規模		利用状況	裝備
	地(坪)	建(物(坪))		
(一) 関東地区				
横須賀海軍工廠初声受信所	七、〇〇〇	六五七	電波庁中央電波観測所	調査未了
海軍大吠電探見張所	五、〇〇〇	二〇〇	通信研究所	同上
海軍八積実験所	一、七一一	三三四	同上	実験施設
海軍大平	借入	七九五	電波庁大平実験所	同上
海軍戸塚送信所	一三七、六四〇	四五五	関東通信局戸塚送信所	一五KW四、一KW一〇、二KW八
船橋	一六〇、四八六	一、五〇〇	船橋送信所	一五KW四、五KW一、二KW九、一KW一
陸軍少年通信学校	八三、四四四	九、〇九〇	東京職員訓練所	教育施設
陸軍大井受信所	九、一六八	四七五	通信研究所	調査未了
陸軍中野通信学校	六、三八四	三四三	関東通信局倉庫	(註)大部分は警察無線に使用中

(二) 東海地区

海軍島田実験所 一三、八五三 一、五二五 通信研究所 実験施設

同上 二六七 東海通信局静岡電気通信管理所 同上

海軍鈴鹿航空隊 三、五〇七 三三五 長太浦送信所 一KW一、五〇〇W三、五〇一

(三) 近畿地区

舞鶴海軍航空隊上杉分遣隊 九、八四四 九六六 近畿通信局上杉送信所 二KW一、二KW九、五〇〇W三、二五〇W

志染分遣隊 一二、七一五 八九五 志染受信所 受信機一二台

大阪陸軍通信学校 一二、二六三 一、七四八 大阪職員訓練所 教育用施設

(四) 中国地区

西志和海軍見張所 八、六〇七 一六六 中国通信局志和超短波中継所 調査未了

海軍米子皆生送信所 一二、八〇八 三五五 電波庁電波観測所 同上

海軍延行送信所 七、一五五 二四二 中国通信局延行送信所 一、一〇〇W二、一五〇W

海軍燒山分遣隊 三三、〇六五 六五四 燒山送信所 一KW一、五〇〇W五、二五〇W五、一〇〇W

陸軍船舶通信隊 二、五二四 廣島電話中継所 調査未了

陸軍馬木送信所 八二 馬木送信所 同上

(五) 四国地区

海軍徳島航空隊

一五、八八二

三七五

四国通信局板東送信所

一〇〇W一

” 第十一航空隊

一〇、〇〇〇

—

” 吉田浜送信所

五〇〇W一、二五〇
W一、一〇〇W三〇

(六) 九州地区

海軍菊地航空戦隊

一、四五九

二二九

九州通信局菊地受信所

調査未了

(七) 東北地区

海軍松島航空隊須江送信所

一二、七五七

四八一

電波庁仙台電波観測所

調査未了

大湊通信隊近川送信所

三、〇〇〇

七〇八

東北通信局近川送信所

一KW一、五〇〇W
一、二五〇W二

(八) 北海道地区

海軍幕別送信所

四、六七九

三四〇

北海道通信局稚内送信所

一KW一、五〇〇W
二

八雲陸軍飛行場

五、〇〇〇

七六八

職員訓練所

調査未了

(九) 信越地区

(一〇) 北陸地区

ナシ

〔参考〕

郵政省関係にて使用中のものの内当省にて判明するもの。

横須賀通信学校真鶴実習所 三〇 東京郵政局真鶴保養所

防府通信学校四辻実習所 四、四三〇 三七九 職員訓練所

田布施実習所 三、二八六 三三〇 同上

嘉川実習所 一、一七六 三八五 同上

厚狭実習所 三、三八〇 七七 同上

二号調書

旧軍用通信施設名一覽表

別 陸軍通信施設 海軍通信施設

北海道 八雲飛行場 野塞方位測定所

幕別送信所

幕別受信所

稚内受信所

根室方位測定所

大湊海軍通信隊花咲分遣隊

大里島防備衛所

神威岬見張所

青 森

秋 田 宮 城

福 島

茨 城 琦 玉

東 京

襟裳岬 見張所

近川 送信所

鱸作 方位測定所

鮫角 見張所

船川 送信所

松島航空隊 須江送信所

松島 見張所

松島航空隊 受信所

郡山 見張所

塩屋岬 見張所

筑波 対空見張所

大井 受信所

川越 受信所

坂戸 送信所

陸軍少年通信兵学校

中野 送信所

八丈 見張所

神奈川

調布受信所

蟹谷受信所

戸塚送信所

茅ヶ崎実習所

久里浜通信学校

平塚実習所

鳴宮実習所

二枝廠衣笠実習所

久里浜通信学校

二枝廠初声実習所

六会送信所

大和田特設通信隊

船橋送信所

犬吠岬見張所

豊里海軍電測学校

八積実習所

千葉

柏送信所
船橋送信所
畑送信所

靜岡

愛知

三重

勝浦対空監視所

六平実験所

布良見張所

宇佐美実習所

三島実習所

鈴川実習所

島田実験所

浜名対空見張所

名古屋航空隊送信所

岡崎航空隊送信所

明治航空隊送信所

豊橋航空隊送信所

豊橋航空隊受信所

鈴鹿海軍工廠工員養成所

第一鈴鹿航空隊送信所

伊勢防備隊送信所
大王岬見張所
新發田方位測定所

新 瀨 電波研究所泊實驗所
富 山 小松航空隊送信所
石 川 雄 島 通 信 所
福 井
京 都

峰山航空隊送信所

舞鶴航空隊本部

志 樂 受 信 所

上杉送信所(舞鶴)

經ヶ岬見張所

兵 庫 陸軍航空通信學校
大 阪 千 里 送 信 所
和 歌 山

守 口 送 信 所

加太対空見張所

日御崎見張所

大津航空隊串本派遣隊

鳥取

廣島

山口

潮岬見張所

中北條分遣隊送信所

下北條通信所

米子皆生送信所

燒山送信所

吳航空隊送信所

西志和海軍見張所

岩國航空隊通信所

田布施実習所

櫛ヶ浜実習所

防府通信學校

嘉川実習所

宇部実習所

厚荻実習所

下関防備隊延行送信所

四辻実習所

香川

詫間海軍航空隊大見送信所

德島

德島航空隊送信所

高知

安藝部隊兵器集積所

室戸岬見張所

足摺岬見張所

愛媛

松山航空隊送信所

佐多岬見張所

福岡

門司通信所

博多方位測定所

大分

宇佐実習所

大真実習所

日出実習所

佐伯航空隊

長崎

針尾送信所

女島見張所

宮崎

宮崎方位測定所

鹿兒島

出水航空隊送信所

鹿兒島航空隊送信所

熊 本 菊 地 航 空 隊

指宿航空隊送信所
 国分航空隊送信所
 笠野原対空監視所
 釣掛見張所

三号調査

旧軍用無線通信機器引継総数及配分状況調書

(二四、四、三〇現在)

品 名	單 位	引継総数	配 分 状 況	
			他 官 庁	電 氣 通 信 省
送 信 機	個	七、四九八	一、二〇五	五、二二四
受 信 機	個	五、八二九	四九六	四、五〇一
真 空 管	個	一、四五三、六三八	一、二六、二一五	一、一六〇、一、二八
				一、一七七、二九五